


















## SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。  
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。


















様式第3号

### 【基本的な事項】

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	環境・社会・経済の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、社内相談窓口を設置している					○			○		○							○	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	ハラスメント禁止を就業規則に定めている 社内相談窓口を設置している					○			○										○
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	月2回管理部人事担当者より長時間労働対象者について共有を行い、所属管理者より本人と対話を通じて労働時間の短縮に努めている									○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	外国人労働者雇用の前例があり、現在も採用を前向きに取り組んでいる。労働環境整備についてもある程度受け入れ体制は整っている。				○					○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	月1回の経営会議内の安全衛生項目にて問題点等があれば発表、検討、対策を行っている			○						○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	ストレスチェックを実施し、高ストレス者には産業保健師の面談を行う 社内相談窓口を設定している			○															
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	障がい者を積極的に採用し、障がい者が生き生きと働ける環境を会社全体で取り組んでいる 女性管理職を積極的に登用を行う					○				○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	「健康保険組合」の健康診断結果により、産業保健師との個別面談を行い、健康で長く働ける方向性を導く インフルエンザ予防接種の機会を無償で提供している			○						○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	BMWグループにおいて職種や職位による研修体系があり、それらに則り人材育成を図っている				○					○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	法整備を理解し、就業規則の見直し等含め体制を整えている									○		○							





カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
製品・サービス	28 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	BMWより世界統一基準の監査指導がある。各部門、各階層においてBMW社の集合研修が行われ、製品、サービスの安全性を取得している			○									○							
	29 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	BMWより適時に指導監査があり、良いサービスが提供できる仕組みになっている。またお客様アンケートにおいて月に1度ミーティングを実施しており、お客様に満足が高いサービスを常に目指している									○										
	30 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・BMWが環境に配慮した自動車づくりに取り組んでいる。特に環境に配慮した電気自動車に力をいれている						○						○	○	○	○				
	31 【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	自然環境にかかる負荷を減らした電気自動車の販売に大きく取り組んでいる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	32 【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	地域のなかで見学会・試乗会を積極的にを行い、環境に配慮した自動車であることを説明している				○					○		○	○		○	○			○	
	33 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	毎年、重要と思われる事柄について寄付を行っている				○							○			○	○			○	
	34 【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	取引先には地場の業者を最優先している 積極的に地場の社員を採用している									○	○		○	○	○					
組織体制	35 【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	BMWグループでの研修が随時設けられている																	○		
	36 【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	経営理念が明文化されている									○	○								○	
	37 【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	BMWグループ共通の掲示板により法令順守(コンプライアンス)の重要性が適時に発信されている																		○	
	38 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	【予定】社内に環境保護責任者を設け、研修を行い専門部署設置の予定																		○	
	39 【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	リスク担当責任者を設置し、責任者が現場との連携を密に行い、内容の把握、評価を行い、再発防止と今後の手順を経営幹部に報告と併せて関係者に周知している																			○
	40 【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	ショールーム、ワークショップ棟周辺の掃除や草取り、公道の掃除を行っている、また障がい者の雇用を積極的に行っている																			○
	41 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	お客様には自動車を通して価値のあるサービス、取引先には信頼のあるパートナーとして、地域・社会には地域社会の一員として持続可能な社会づくりを目指している																		○	○
42 【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	【予定】安否システムの導入 【予定】細かな社員の行動基準についても明確化していく										○		○		○				○		

